

4

茨城県の道路整備状況

H17年度に完了した道路事業・施策

一般国道461号踏切除却・改良事業

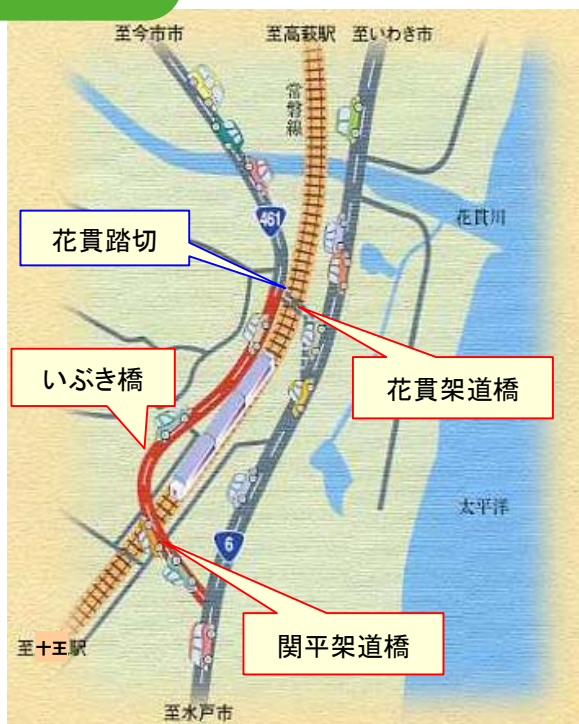
事業概要

- 国道461号は、国道6号と内陸部の国際的観光都市(日光)を結ぶ幹線道路で、多くの幹線道路を横断的に連絡する重要な道路です。
- 高萩市の花貫踏切付近は国道6号との距離が短く幅員も狭いうえ、JR常磐線と斜めに交差していることから慢性的な交通渋滞を引き起こしていました。
- 平成18年3月に“いぶき橋”を架橋し、踏切を立体交差化したことから、踏切事故が無くなりました。

確認された効果

- ・過去5年で2件発生した踏切での列車衝突事故が解消
- ・走行速度が10km/h向上
- ・年間約60t(森林面積6haに相当)のCO₂排出量削減

整備箇所位置図



整備状況



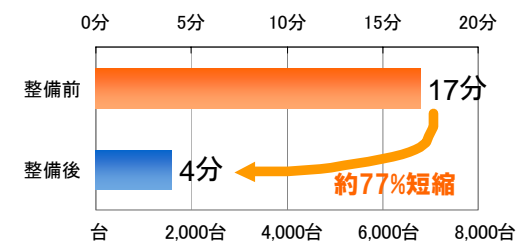
主要地方道土浦稲敷線バイパス

事業概要

- 主要地方道土浦稲敷線は、国道6号と並行する幹線道路で、周囲には東京のベッドタウンとして開発された新市街地が広がっています。
- 本路線は、これまで道路網として完成していなかったことから、抜け道となる町道等へ交通が流出していました。
- 平成17年12月に開通した土浦稲敷線バイパスは、この新市街地間を結ぶ4車線の道路で、道路網として完成したことから、南北方向の交通流の円滑化に大きな効果をもたらしました。

確認された効果

- ・国道6号中村陸橋交差点～学園東大通り交差点間の所要時間が約77%短縮

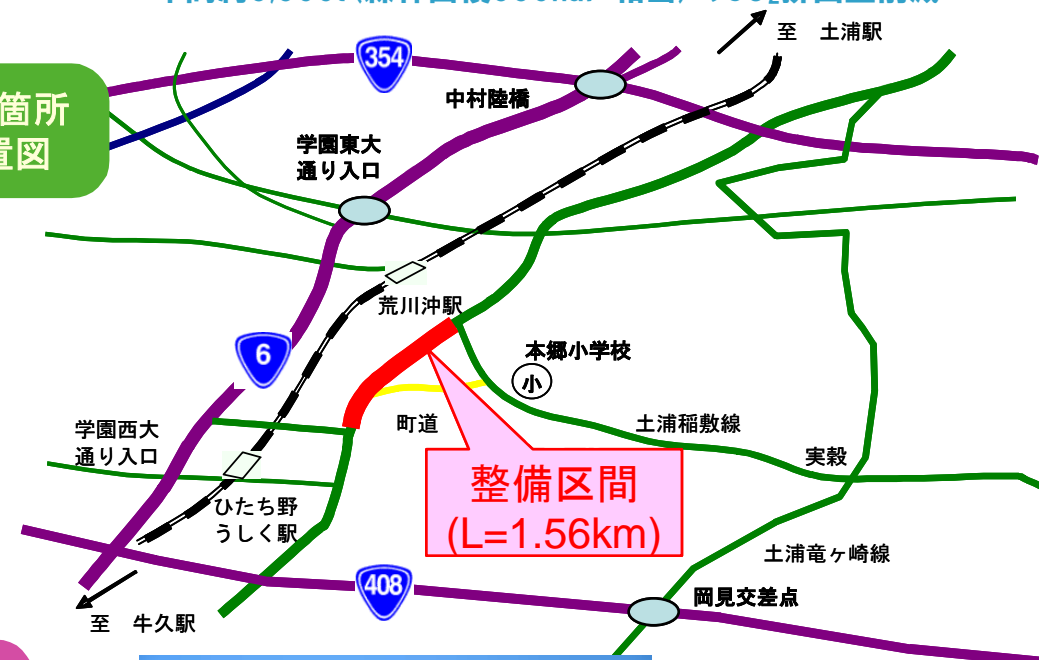


- ・抜け道となっていた狭い通学路の交通が約85%減少し、通学児童など歩行者の安全性向上



- ・年間約5,500t(森林面積550haに相当)のCO₂排出量削減

整備箇所位置図



整備状況



4

茨城県の道路整備状況

H17年度に完了した道路事業・施策

安全快適なみち緊急整備市町村補助事業「龍ヶ崎市」

事業概要

- 龍ヶ崎市馴染町では、朝夕の交通量が多く、歩道もないため市立愛宕中学校へ通学する生徒が危険な状態にありました。また、公共施設（文化会館・図書館）の出入口にもなっており、催事が行われる時には交通量が増大していました。
- 市町村道の整備を県が支援する「安全快適なみち緊急整備市町村補助事業」を活用し、龍ヶ崎市が延長約300m、歩道幅員2.5m(一部ポケットパーク付)の歩道を整備しました。

確認された効果

- ・年間延べ6万人以上の歩行者、自転車等の安全を確保
- ・車道拡幅により、自動車もスムーズな通行が可能に

整備箇所位置図



整備状況



日立地区常磐自動車道社会実験

事業概要

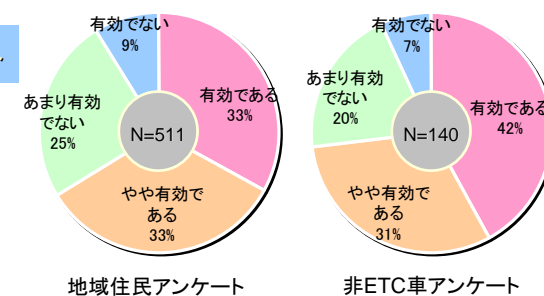
- 利用率の低い常磐自動車道を有効活用し、交通を分散させることで日立市内の渋滞を緩和する取り組みです(3年目)。
- 実験期間：平成17年6月27日～8月31日〔約2ヶ月間〕
9:00～17:00〔8時間/日〕
- 対象区間：常磐自動車道 那珂、日立南太田、日立中央
日立北の4インターチェンジ間
- 割引率：ETC通行車に限り約5割引

確認された効果

- ・実験時間帯の渋滞損失金額が約117万円/日(8h)削減【試算値】
- ・国道6号のCO₂排出量が2.0%減少【試算値】

地域住民アンケート、非ETC車アンケート

- 「ETCに限定した社会実験は有効である」というご意見は、地域住民の66%、ETCを利用していない方の73%



事業者ヒアリング

- 「ETCに限定した社会実験は有効である」というご意見が70%

社会実験の対象区間

